

学位被授与者氏名	岩熊 保弘 (いわくま やすひろ)
論文題目	社会関係の再創造におけるアート アートプロジェクトという考えを視座として
論文審査結果の要旨	<p>岩熊氏は元美術教師であり、現在もアート活動を行っている人物である。当事者である彼のアートに対する知識と分析は深いものがある。アートと社会との関係を歴史的にうまくまとめ、さらにその実践の特徴を明確に持つアートプロジェクトについて詳細にまとめている。また、現代のアートプロジェクトが何を目指しているのか、そしてその課題とは何かを、質的調査（インタビュー）によって実証的に分析している。</p> <p>理論的な枠組みについても、図を駆使しながらモデル化し、大変わかりやすく分類している。また、調査結果も適切にまとめ、理論面、実証面ともに優れた論文といえる。</p> <p>アートプロジェクトの社会的機能について本格的に分析した論文はあまりなく、この論文は非常に野心的なものであり、今後の同様の研究における指針を提供している。また、アートとは何かという哲学的な主張が底流にあることが、論文に厚みを持たせている。</p> <p>論文の構成、論理の展開においても優れており、またアーティスト自らが著した論文としての価値もある。様々な点から評価されるべき論文である。</p> <p>平成 27 年 3 月 3 日に、北九州市立大学北方キャンパス 4 号館 4-301 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(人間関係学)として十分な内容であると判定した。</p>